

昭和電工株式会社 東長原事業所だより

会津工業高校事業所見学会



現場見学の様子

6月15日、会津工業高校セラミック化学科の3年生32名が、会社で働く事の大切さを学ぶために事業所見学会に訪れました。最初に記念館で昭和電工グループと東長原事業所概要説明があった後、2班に分かれてFC課とIC課の工場見学を行いました。FC課見学では、ME充填場にて生産フローを説明し、模擬充填の様子を見たり、実際にタンクに触れる体験をしてもらいました。「ボンベ1本の金額は？」などといった質問などもあり、興味深く見学する様子が伺えました。

IC課見学では、記念館でのIC課概要説明後、LNGのタンクローリーがちょうど到着したため、LNG受入作業の見学をしました。その後製造現場へ移動し、原料の受入場所の見学や製品の説明などを聞いてもらいました。

見学会後は同校OBで一昨年入社先輩から体験談発表があり、業務内容の説明や仕事において「報連相」が大事であることなどの話がありました。質疑応答では「業務に役立つ資格は？」といった質問から「在学時の評定平均はどのくらい？」との質問もあり、笑いが起こる場面もありました。

最後に窪田事業所長から、今日の経験を未来に生かす有意義なものにして欲しいという挨拶があり見学会は終了となりました。

帰りのバスに向かう際、工場見学で学んだ「右ヨシ！左ヨシ！前方ヨシ！」の指差呼称をして道路を渡る生徒の皆さんのフレッシュな姿に、私達も初心に返る思いで見送りをしました。

今回の見学会は新型コロナウイルス感染症対策のみならず熱中症対策も入念に検討して実施され、ルールを守り無事に終わる事ができました。終了後のアンケートでも「現場を見る事ができて感動した」「説明が分かりやすかった」「恰好良かった」などの嬉しい言葉を沢山いただきました。今後も未来に役立つ見学会を考えていきます。



ボンベ取扱い体験



LNG受入れ作業見学



記念撮影

2021年度新入社員入社式

4月1日、新入社員2名の入社式が行われました。

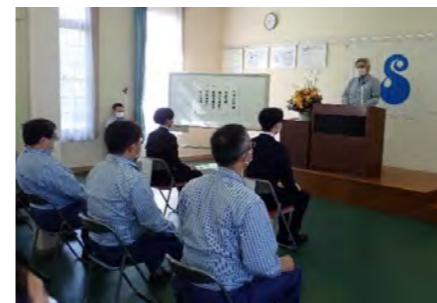
新型コロナウイルスの影響で式典への参加人数制限もある中での開催となりました。各所属長らが見守る中、新入社員として紹介されると、「今まで学んできたことをいかして、先輩方に早く追いつけるようになりたい」との意気込みを語り、頼もしくフレッシュな姿を見せてくれました。

窪田事業所長から、「東長原事業所は100年以上の歴史ある建物がある一方で昨年できた新しい設備もあり、その中で最先端の製品を創り出しているユニークな事業所である」との説明の後、「ルールを覚えて安全な作業方法を身に付けること」や「ここで働く自覚と誇りを持って欲しい」とエールが送られました。

また、配属先となるFC課、開発グループの各所属長からも「焦らずに一緒に頑張っていきましょう」と声を掛けられました。2名とも緊張した面持ちではありましたが、社会人として成長していきたいという思いが伝わってきました。

机上や現場での研修を終え、現在はそれぞれの配属先で日々勉強の毎日です。

これから沢山の経験を経て、東長原事業所を支える一員となってくれる事を期待しています。



窪田事業所長からご挨拶



各所属長からの挨拶



各所属長との記念撮影

危険物安全週間に伴う予防査察

6月11日、会津若松消防署管内の消防署員10名の方が来場され、東長原事業所の危険物施設全29施設の立入検査および警防調査が行われました。

本検査および警防調査は、毎年、全国危険物安全週間行事に併せて実施されています。会津若松消防署管内にある危険物製造所12施設のうち11施設が東長原事業所の敷地内（場内企業他2社含む）に設置されていることもあり、ここ数年は危険物製造所等の構造や保安管理等の研修も兼ねて予防査察が実施されています。

公設消防署員の皆様に、事業所内の消防法の危険物施設だけでなく、毒物劇物取締法や高圧ガス保安法に該当する製造設備・貯蔵設備・取扱設備並びに取り扱っている各種の化学物質等についてご理解頂くことで、万が一の緊急事態発生の際に相互の意思疎通や情報伝達が円滑となり、事故や災害時の被害拡大防止に大きな役割が果たせるものと期待しています。



消防による現場調査の様子